

| | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|---|-------|-------------|-----------|-------------|----------|----|----------|----|
| 科目名 | 精神保健学B | | 科目コード | W31016 | 単位数 時間 | 2単位 30時間 | 対象 学年 | 2年 | 開講 学期 | 後期 |
| 区分 | 社会福祉専門教育科目 精神保健福祉士指定科目 | 選択 必修 | 担当者名 | 吉岡 利忠・葛西 久志 | | | 授業 形態 | 講義 | オムニバス | |
| 授業の 概要 | 精神保健の視点から見た〔学校教育の課題、勤労者の課題、現代社会の課題〕へのアプローチと、精神保健に関する対策〔発達障害、アルコール問題、薬物依存、うつ病と自殺防止認知症高齢者、社会的ひきこもり、災害など〕と精神保健福祉士の役割、そして地域精神保健に関する諸活動と諸外国の精神保健活動の現状と呼び対策について概説する。 | | | | | | | | | |
| 到達 目標 | 精神保健学Bでは、狭義の精神保健とし教育・労働・医療・福祉・司法などの課題とアプローチ方法について学び、また、発達障害、アルコール問題、薬物依存、うつ病と自殺防止、認知症高齢者、社会的ひきこもり、災害などに対する現状と対策やそれらに対する精神保健福祉士の役割ついてを学ぶ。さらに、実践の場で活躍している精神保健福祉士を招聘し現状を学ぶ。 | | | | | | | | | |
| 授 業 計 画 | | | | | | | | | | |
| 回 | 主 題 | 授 業 内 容 (授 業 時 間 外 の 学 修 を 含 む) | | | | | | | 備 考 | |
| 第1回 | 精神保健の視点からみた学校教育の課題とアプローチ① | 学校教育と生徒児童の特徴（不登校、いじめ、子どもの自殺、学校における暴力、非行問題）他 | | | | | | | 葛西 | |
| 第2回 | 精神保健の視点からみた学校教育の課題とアプローチ② | 学校精神保健福祉関連法規、学校における精神保健福祉士の役割、他 | | | | | | | 葛西 | |
| 第3回 | 精神保健の視点からみた勤労者の課題とアプローチ① | 労働環境の変化、労働者のメンタルヘルスに関する動向、他 | | | | | | | 葛西 | |
| 第4回 | 精神保健の視点からみた勤労者の課題とアプローチ② | うつ病と過労自殺、職場内の問題解決のための機関と関連法規、職場における精神保健福祉士の役割、他 | | | | | | | 葛西 | |
| 第5回 | 精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割① | 発達障害に関する対策、アルコール問題、薬物依存に関する対策 | | | | | | | 葛西 | |
| 第6回 | 精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割② | うつ病と自殺防止対策、認知症高齢者に対する対策 | | | | | | | 葛西 | |
| 第7回 | 精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割③ | 社会的ひきこもりに対する対策、災害時の精神保健に関する対策 | | | | | | | 葛西 | |
| 第8回 | 現代社会の課題とアプローチ① | 現代社会と精神保健、災害被災者の精神保健、犯罪被害者の精神保健 | | | | | | | 吉岡 | |
| 第9回 | 現代社会の課題とアプローチ② | ニート・若者無業者と精神保健、ホームレスおよび貧困問題と精神保健 | | | | | | | 吉岡 | |
| 第10回 | 現代社会の課題とアプローチ③ | 性同一性障害と精神保健、多文化と精神保健、ターミナルケアと精神保健 | | | | | | | 吉岡 | |
| 第11回 | 地域精神保健に関する諸活動① | 精神保健に関する調査、資源開発、他 | | | | | | | 吉岡 | |
| 第12回 | 地域精神保健に関する諸活動② | ネットワークづくり、地域精神保健と関係法規、人材育成、他 | | | | | | | 吉岡 | |
| 第13回 | 諸外国の精神保健活動の現状と対策① | 世界の精神保健の実情、WHOなどの国際機関の活動、他 | | | | | | | 吉岡 | |
| 第14回 | 諸外国の精神保健活動の現状と対策② | 諸外国の精神保健医療の実情、他 | | | | | | | 吉岡 | |
| 第15回 | 実践現場から精神保健福祉士の声 | 実践の場で活躍している精神保健福祉士を招聘し現状を学ぶ | | | | | | | ゲストスピーカー | |
| 評価 方法 及び 評価 基準 | 学則規程に従い出席が3分の2に満たない者は評価の対象としない。レポート課題（20％）定期試験（80％）で評価する。レポート課題は、その時の講義内容を踏まえ自分の考えを論理的に記述しているかを評価する。定期試験は、講義全体の内容についてどの程度理解したかを評価する。 | | | | | | | | | |
| 教材 教科書 参考書 | 新・精神保健福祉士養成講座 第2巻「精神保健の課題と支援」 第2版 中央法規出版 | | | | | | | | | |
| 留意点 | この科目は、精神保健福祉士の受験資格取得のための指定科目である。 | | | | | | | | | |